

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3 年 2 月 2 日

事業所名 障害児学童保育所あみ 保護者等数(児童数) 16 回収数 15 割合 94 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	4	1	1	・人数に合わせてその都度 されている。 ・狭い気もするが、よく考え て内容も工夫して下さって いる	子どもの要求や活動レベル に合わせて少人数グループ をつくり活動している
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	4		1	専門性についてはわからない	・職員数は規定に達してい る。 ・専門性は法人内、外の研修 に積極的に参加することで、 専門性を身につける努力をし ている
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設 置などバリアフリー化の配慮が適切になされ ているか	4	8	2	1	階段があったり、玄関あた りがもう少し広ければいい	広さは変えられないので、整 理して少しでも広く使用でき るようにする
適切 な支 援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、放課後等デイサービス計 画*1が作成されているか	14	1			計画のおかげでいろいろな ことが出来るようになり良 かったです	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫 されているか	14			1		
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会があるか	4	3	3	5	・コロナがあるので通常の 状況はわかりません ・特に必要なし	他の児童クラブとの関わりは ないが、例年は子ども劇場な どの一般の方が利用される 行事にも参加してきた
保護 者へ の説 明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な 説明がなされたか	15				お迎えに行くたびにいろ いろな先生方が話して下さ るので助かります	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解ができてきているか	13	2				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言 等の支援が行われているか	14	1			日常的に声をかけて下さり 助かっている	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援され ているか	6	5	2	2	されているが、参加できなく て申し訳ありません	今年度はコロナの影響で実 施できていない
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ 適切に対応しているか	12	1		2		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達 のための配慮がなされているか	14	1				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概 要や行事予定、連絡体制等の情報や業務 に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に対して発信しているか	14	1				
14 個人情報に十分注意しているか	15						
非常 時等 の対 応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、保護者に周 知・説明されているか	11	2		2	マニュアル本でもあったと良 いかもしれない	マニュアルはあるが、周知で きていないので早急に対応し ていく
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出、その他必要な訓練が行われているか	6	5		4		
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	12	2		1	ものすごく楽しみにしている	
	18 事業所の支援に満足しているか	13	2			子どもが変わったので支援 のおかげだと思っている	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3 年 2 月 2 日

事業所名 障害児学童保育所あみ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	3	施設が狭いため、小学生グループと中高生グループに分け活動している	
	2	職員の配置数は適切である	6	2		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	7	建物の構造上むずかしいが、(玄関の階段、階段の傾斜等)低学年の子どもたちの階段の上り下りなど見守りつつ声かけ等している	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	2	年間計画はあるが、定期的な振り返りができていない	一人一人の課題や集団作り等について、毎月振り返りが必要。事前に正職員で検討し資料を作って来月への取り組みなど具体的に検討しけようになったら、スタッフ全員で同じ方向性で支援ができるようになると思う
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1	出された要望や願いについては、前向きに検討、改善している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	早めに、保護者、職員に配布しじっくり書いてもらえるよう工夫している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	4		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	コロナの影響で集合しての研修はなかなかできていない。ただ、ZOOMを使用した研修を取り入れている。	分散して研修ができる仕組みを作れたらと思う
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1	半年に一度モニタリングをするが、必要に応じて定期的な面談も取り入れている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6	2	リーダーの立案を検討し共有している	月単位でどんな活動が必要か、月案を話し合って検討していけたらと思う
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	2	できるだけいろいろな活動を模索し、挑戦しているがなかなか広げられないケースもある	できるだけ子どもたちの要望に応えられるよう語り合っていく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	2	平日と休日、長期休暇の活動は分けている。利用児童も多くなるため活動のプログラムも工夫している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	2		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	日々の会議で確認している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	1	当日に振り返りをすると、時間外になってしまうので、翌日のスタッフ会議で振り返りをしている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	内容を整理し、簡潔に記録するようにしている	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6	2			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	児童発達支援管理責任者が参加している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	2	必要に応じて連絡調整をしている	今後は定期的に学校訪問を実施していく計画である
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			対象児童なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	3	必要があれば、連携や情報共有をしていく	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	5	必要があれば、連携や情報共有をしていく	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	4		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	8	なかなか他の施設との活動の機会はないが、子ども劇場などの行事に参加予定である	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	3	毎回参加している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	日々のお迎え時に活動報告をしている	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	3	まずはしっかりと傾聴するようにしている	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	契約時に確認している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	2	まずはしっかりと傾聴するようにしている	必要に応じて同法人に発達相談員がいるので、助言をもらうようにしている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	4	コロナの関係で実施できていない	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	1	現在苦情はない。保護者には苦情箱を周知している。苦情があった際には、迅速かつ丁寧に対応していく	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	毎月あみ通信を発行し、子どもの表情や姿を発信している	
	35	個人情報に十分注意している	8	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	5	コロナの影響で秋祭りはできなかったが、毎年祭りを通して地域とつながっている	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	4	マニュアルはあるが周知にいたっていない。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	2	定期的に行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	例年、県主催の虐待防止研修に参加しているが、今年はコロナの影響もあるので事業所内で研修を取り入れた	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			対象児童なし	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			対象児童なし	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	3	作成し共有している	